



12月4日開催東地申第73号 「2024年3月ダイヤ改正検証について」の申し入れ (その1) 「東京車掌区」団体交渉を行う!

共通

1.上野駅構内の庁舎移転後に伴う、以下の不備について明らかにすること。

- ①運転作業要領がダイヤ改正日までに整備されず4月5日までに整備されなかった原因を明らかにすること。
- ②運転作業要領が示されないことにより指定通路が明確になっていないことから、全乗務員に対しダイヤ改正日以降4月5日までの指定通路の使用状況を調査すること。また、折り返し時間が不足した場合には追給を行うこと。

回答:必要な教育・訓練は実施してきたところである。なお、必要な労働時間についても確保している。

組 合

- ◆様々な不備があり指摘をさせていただく。上野駅構内への庁舎移転に伴う不備について①と②を申し入れた。修正回答を求める。本来ダイヤ改正ではお客さまに対しては勿論のこと、働く我々の労働条件変更であり、原因を調査したうえで対策をどのようにしていくか議論を行いたいと考えている。回答にある必要な教育・訓練は実際には行われていない。しっかり原因を載せていただきたい。
- ◆回答の中に入れていただきたい。謝罪を求めている訳ではない。変化点があったということで遅れたことを載せていただきたい、その回答に基づき対策を考えて議論していきたい。
- ◆姿勢が回答に出ている。長文で書けとは言わない。この回答では議論に入れない。真摯に受け止めた上で修正を求める。
- ◆正式回答であれば間違っている。申し入れた内容と回答では意味が違う。首都圏本部として発言した原因の内容が回答となるべきである。作業要領が遅れた事実がある。回答の訂正を行うべきである。
- ◆謝罪を求めている訳ではない。原因を回答に出すのが筋である。原因が分かっただけで議論に入ることができる。①部分の回答が示されていない。
- ◆納得することはできない。議論するためにも回答していただきたい。正しい回答から議論に入るのが団体交渉の基本である。回答を修正した後に議論に入る。
- ◆会社内で議論していただいたことには感謝するが、何度も言うように団体交渉の在り方として回答を基に議論していく事が団体交渉である。1項目の①と②の回答では不十分であり、このままでは議論できない。従って、1項で議論に入れないことから、不誠実交渉を通告する!

なお1項は別で議論をする。ダイヤ改正の行路に関しては改善できる所があるので議論を進めるが良いか。

会 社

- ◆不備については庁舎移転もあり、変化点の中で様々な確認事項・調整事項があり作業要領が結果的に間に合わなかった。今回の事象を「しょうがない」と言うつもりもない。結果的に遅れたことについては、あるべき状態ではないが書類等が遅くなることは、あり得ると思っている。後から修正を掛けることもある。徒歩ルートの変更もダイヤ改正前から実際のルートを説明させて頂いている。訓練に基づいて作業していただいたと認識している。
- ◆主張は受け止める。議論していくことが重要である。この回答で十分議論できると考えている。
- ◆会社としての正式な回答である。変える気はない。議論の中で認識を合わせていきたい。
- ◆必要な教育・訓練は実施してきたところである。遅れたことには申し訳なく思う。
- ◆この回答は①の②の不備という部分で掛かっていると判断して、議論の中で深めればと思っている。
- ◆主張は受け止め会社内で議論した結果、回答は修正しないで議論を考えている。
- ◆議論等での重みは同じであると考えている。

回答が不足しているため第1項の「上野駅構内の庁舎移転後に伴う、

以下の不備について明らかにすること。」は議論することはできない!

不誠実交渉を通告!

その②へ



12月4日開催東地申第73号

「2024年3月ダイヤ改正検証について」の申し入れ (その2) 「東京車掌区」団体交渉を行う!

ダイヤ・行路

1.東海道線の平日1589Eと休日1585Eは10両編成のため、お客さまのご利用が集中することにより、混雑が常態化し遅延が発生していることから平塚駅まで15両編成とすること。

回答:列車ダイヤは、お客さまのご利用状況や車両運用、設備条件等を考慮して設定している。

組 合

- ◆混雑状況の認識は。
- ◆15両編成にならないのか。
- ◆遅延状況はどうか。
- ◆間隔があいている、ダイヤで調整は可能か。
- ◆指令から延発が指示されるが、お客さまが乗り切れない。
- ◆引き続き調整は考えていただきたい。

会 社

- ◆夕方から夜間にかけての最後の10両であり、お客さまや社員からの声は聞いている。平日は大船～藤沢駅までが最も混雑している。
- ◆本数が同一でないので、5両を付けると夕通勤帯に10両になってしまう。
- ◆遅れも把握している。どうにかならないか毎回勉強はしている。
- ◆時間をどこから持ってこなくてはならない。
- ◆運転整理も見ている。
- ◆引き続き検討していく。

2.国府津駅場面での(平日・休日)332Mから1672Eの接続について、以下の点を明らかにするとともに改善を図ること。

- ①332Mが国府津駅に所定時刻に到着できない原因について明らかにすること。
- ②332Mからの接続を行うことで1672Eに遅延が生じていることから1672Eの発車時刻を変更すること。
- ③332Mから1672Eへの接続指定を明記すること。

回答:列車ダイヤは、お客さまのご利用状況や車両運用、設備条件等を考慮して設定している。

組 合

- ◆①の認識はどうか。
- ◆332Mは出発停止で向かっていく、認識はどうか。
- ◆プラス15秒から30秒はされていないのか。
- ◆実際に遅れが出ている。1672Eの遅延はどうか。
- ◆②の認識は。332Mに遅延が生じると1672Eが遅れる。
- ◆到着時間を上げられないのはなぜか。
- ◆次のダイヤ改正で何か出来ないか。
- ◆③の認識は。
- ◆どのくらいの頻度で接続の無線を飛ばすのか。
- ◆接続を取って発車するように現場では言われている。
- ◆最初から明記すれば問題ない。

会 社

- ◆到着の遅れは把握しているが、基準運転時分では足りていない認識である。
- ◆足りているという認識である。
- ◆その通りである。
- ◆遅れる日もあることは把握している。
- ◆平塚の併合もあり、調整は厳しい。
- ◆熱海からの運転時間がギリギリである。
- ◆優先順位は上に来ている。何か出来ないか引き続き考えていく。
- ◆乗り換えのダイヤであるが、日によっては接続を取らない可能性がある。
- ◆週に1回から2回である。確実に接続を取る訳ではないので明記できない。
- ◆接続を取れるものは取っていく考えである。
- ◆明記すると他にも縛りが多くなる。



12月4日開催東地申第73号

「2024年3月ダイヤ改正検証について」の申し入れ (その3) 「東京車掌区」団体交渉を行う!

3. 藤沢駅における停車時分は45秒を基本とすること。またホーム上の安全確保のため、夕通勤時間帯のラッシュ時間帯には駅係員による乗降終了表示の掲出を行うこと。

回答: 列車ダイヤは、お客さまのご利用状況や車両運用、設備条件等を考慮して設定している。なお、乗降終了表示の掲出を行う計画はないと聞いている。

組合

- ◆ 認識はどうか。
- ◆ 実際に駅員がいても声だけ聞こえる。乗り換えが1か所に集中すると乗降時間30秒だと厳しい。
- ◆ 藤沢駅で何か出来ないか。
- ◆ 駅員は出せないのか、出さないのか。
- ◆ 駅で安全上の課題は持っているのか。

会社

- ◆ 時間帯で混雑している列車に時間を付けているが全てではない。7月1日で乗降終了表示は終了している。
- ◆ 現状は把握している。状況を見ながら引き続き検討していく
- ◆ 藤沢駅に限らず、横浜支社で群眾マネジメントを行い何かあれば応援体制も考えている。
- ◆ 朝の通勤時間帯は立っているが、常に出すことはできない。
- ◆ 聞いていないが横浜支社に伝えていく。

4. 辻堂駅および茅ヶ崎駅の停車時分は45秒を基本とすること。

回答: 列車ダイヤは、お客さまのご利用状況や車両運用、設備条件等を考慮して設定している。

組合

- ◆ 停車時分の拡大は出来ないか。
- ◆ 辻堂は人も増えているし、ベビーカーも多くなっている。
- ◆ 当社も街づくりの一環として考えるべきである。
- ◆ 茅ヶ崎駅のエスカレータ付近が混雑している。
- ◆ 反対側ホームの接近放送で、発車ベルのメロディ・放送が切れてしまう。

会社

- ◆ 必要な所ではあるが、やみくもに45秒は出来ない。
- ◆ 現状は把握している。駅でも何かできないか伝えていく。
- ◆ 引き続き鉄道を中心とした街づくりは必要と考えている。
- ◆ 茅ヶ崎駅も把握しているので、横浜支社に伝えていく。
- ◆ 老朽取り換え等で、出来る所で分離をやっていきたい。

5. 輸送の安定性を確保するために他区との担当列車の持ち替えを行い、行先地時間を拡大すること。

回答: 列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。

組合

- ◆ 東京車掌区だけでは限界があるが、国府津までの便乗が増えている。
- ◆ 20時の湘南の間合いやサンライズの間合いを拡大していただきたい。
- ◆ 次期ダイヤ改正では少しでも良くしていただきたい。

会社

- ◆ 日中帯において増えているが、直すと乗務キロが増えてしまう恐れがある
- ◆ 列車本数によるが、少しでも取っていききたい。
- ◆ 引き続き検討していく。

6. お客さまサービスの向上、車内秩序維持の観点から特急「湘南」上り14両編成の列車は、改札担当を定期行路で設定すること。

回答: 現時点で、乗務員体制を変更する考えはない。

組合

- ◆ 14両編成での認識はどうか。
- ◆ 未巡回が発生している。貨物線経由と客線経由があるが認識はどうか。
- ◆ 遅れが発生すると巡回できない。客線経由の列車に2人付けてもらいたい。
- ◆ 踊り子・湘南は連結の場合に貫通が出来ない。気持ち的にも焦りが生まれる。
- ◆ 購入区間と乗車区間が違う事もある。
- ◆ 特急湘南も含めてキロ主体の料金体制が合わなくなっている。昔からの50キロの壁がある。分かりやすい周知が必要である。
- ◆ 2人乗務を求めているが、1人でもやれるように何かしら考えていかなければならない。

会社

- ◆ 車内の状況や日報等を見ていて、巡回できない日も確認しているが、現時点では変更する考えはない。
- ◆ どちらも見ている。
- ◆ 異常時にはデッキに溜まれば、何人いても回り切れない。何らかの対策は必要だと思う。
- ◆ 焦らず、作業をしていただきたい。
- ◆ 認識している。引き続き周知していく。
- ◆ お客さまに、分かりやすいものが良いと思う。
- ◆ 検討していく。



12月4日開催東地申第73号

「2024年3月ダイヤ改正検証について」の申し入れ (その4) 「東京車掌区」団体交渉を行う!

7.2023年3月ダイヤ改正以降に、熱海駅において見習い行路に含めていなかった特急「踊り子号」の誘導連結を行う列車の担当する行路を、2024年3月ダイヤ改正で1組交番に入れた理由を明らかにすること。

回答:区全体の技量維持向上を図る目的で1組設定としている。なお、交番順序については、乗務割交番作成規程に基づき関係箇所と調整しながら作成している。

組 合

- ◆1組交番に入れた経緯は。
- ◆現場の発意か。
- ◆教育は映像を流して終わっている。
- ◆途中で異動してきた方は、見習いをやらないで乗ることとなる。
- ◆現場任せにしないで、しっかり認識出来ているのか、指導していただきたい。

会 社

- ◆2組では、なかなか回ってこない。より多くの方に乗っていただきたい。
- ◆交番は現場で作っている。
- ◆訓練で説明したと聞いている。伝え方については現場に聞く。
- ◆気持ち的には現車で見た方が良いと思うが、ヒジュアルでも可能と判断した。
- ◆現場に伝えていく。

8.交番毎の日数と乗務可能な乗務員数との乖離が大きいことから、同一数となるよう交番を作成すること。

回答:交番順序については、乗務割交番作成規程に基づき関係箇所と調整しながら作成している。

組 合

- ◆1組は66日回して、2組は25日回しになっており、人数が少ない方に特殊が多くなっている。乗れるのに乗れないアンバランスが発生している。
- ◆教育が足りていないのと、2組は早い泊りで負担が大きい。

会 社

- ◆認識している。優等組にサンライズを入れてモチベーションを上げる目的もある。
- ◆意見は現場に伝える。

9.「その他時間」の指定について、基本行路(親行路)では行路内の「車両監視」を読み替えるよう指定されているが、分割行路(子行路)では「車両監視」として指定されていない理由を明らかにすること。

回答:システム上の制約により読み替え及び入力方に相違が発生している。

組 合

- ◆相違が発生しているとは何か。
- ◆何故、文字が入ってしまったのか不思議に思う。
- ◆「その他時間」で割り振りに差が出てしまう。
- ◆現場で社員に説明をするべきである。

会 社

- ◆切り離したいがシステム上の制約でそうになってしまう。
- ◆制約上、自由に設定できない。現場の声を上げて我々も早期の改修を目指す。
- ◆予備落ちのタイミングで回ってこないと考える。
- ◆意見は現場に伝えていく。

10.同一宿泊箇所に宿泊する行路については翌日の乗務列車の設定については、安全、働きがいの向上のために前日の到着順に起床する行路設定とし、睡眠を目的とした乗務の中断時間を拡大すること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勧案し、行路を作成している。

組 合

- ◆何故、そうなっているのか。
- ◆行先別の終電車の担当を変えた理由は。
- ◆終電車の担当を変えると、見習い時に回ってこない可能性がある。

会 社

- ◆順番で起床がベストだと思うが、睡眠を目的とした時間や乗務の負担を軽減させることを検討している。
- ◆平・休のバランスを考えて、この形になった。
- ◆意見は承る。



12月4日開催東地申第73号

「2024年3月ダイヤ改正検証について」の申し入れ (その5) 「東京車掌区」団体交渉を行う!

11. 同一行路における平日・休日の出退勤時刻に大幅な乖離が生じていることから、出退勤時刻を揃えること。

回答: 列車ダイヤの設定や効率的な運用を勧案し、行路を作成している。

組合

- ◆アンバランスの認識は。
- ◆負担にならないように、変えられるところは変えていただきたい。

会社

- ◆平・休でアンバランスが発生するが、4時間30分も違うのでダイヤを見ても改善が出来なかった。次回はもう少し良くしていく。
- ◆検討していく。

12. 分割行路(子行路)の設定については育児・介護適用者の意見を踏まえ行路を設定すること。また、技量維持の観点から当務主務・兼務者が乗務する行路の設定を拡大すること。

回答: 短時間行路については、線区ごとの輸送形態や箇所の実態に応じて設定している。

組合

- ◆東京車掌区の認識は。
- ◆当務主務・兼務者が乗務する機会が少ない認識は。
- ◆湘南新宿ラインに設定していない理由は何か。
- ◆融合と連携であれば、偏りではなく多くの社員が乗れるべきである。

会社

- ◆使う社員にどのような時間設定にすればよいか考えながら設定している。
- ◆月1回か2回乗務している。
- ◆システムで分割できる出来る箇所は、区所がある箇所のみとなる。湘南新宿ラインだと時間が超えてしまう。
- ◆現場に伝えていく。

13. 出勤後の準備時間については、指導掲示等のチェックと業務用タブレットを介して周知される指導内容等のチェックを行う必要があり準備時間が不足していることから、準備時間の見直しを図ること。

回答: 必要な労働時間は確保している。

組合

- ◆タブレットで情報が上がるが棲み分けが出来ていないため時間が掛かる。
- ◆具体的に何分必要なのか。
- ◆タブレットで必要な時間は。
- ◆タブレットで閲覧する時間は業務時間で良いか。
- ◆基本的にタブレットで閲覧する時間は、書き写す時間と一緒に。
- ◆確認するのに時間が掛かる場合は超勤なのか。

会社

- ◆足りていないという認識はない。
- ◆出勤に必要な時間と予備の時間を足して、現状の時間となっている。
- ◆準備に必要な時間であるという回答である。
- ◆その通りである。
- ◆そうである。
- ◆当直に申告して頂いての判断になる。

14. 次期ダイヤ改正にあたっては乗務員の意見を聞き行路設定に反映させること。

回答: ダイヤ改正作業については、引き続き関係箇所と調整しながら進めていく考えである。

組合

- ◆社員の声をどのように受け止めているのか。
- ◆現場では誰に言って良いか分からない。
- ◆管理者からも聞かれない。幅広く聞けるようにしていただきたい。

会社

- ◆現場からは聞いているとのことであるが、全体意見が反映されるアンケートを進めている。
- ◆管理者に伝えて欲しい。
- ◆意見は伝えていく。



12月4日開催東地申第73号

「2024年3月ダイヤ改正検証について」の申し入れ (その6)

「東京車掌区」団体交渉を行う!

教育

1.寝台特急「サンライズ瀬戸・出雲」の教育は現車を用いて行うこと。また特急「踊り子」の熱海駅での誘導連結ならびに特急「鎌倉」については見習い乗務での教育を行うこと。

回答:引き続き、必要な教育は行っていく考えである。

組 合

- ◆現車を仕立てることは可能か。
- ◆見習いも付けたが、設備の詳細を教えるとなると既に部屋にお客さまが居て見られない。
- ◆車体の構造は教育として必要である。
- ◆他社の車両であり、取り扱い方が変わってくる。ビジュアル教材を受けた方のフィードバックは行うべきである。
- ◆実際は伝わっていない。首都圏本部も一緒に考えていただきたい。
- ◆ホリデー快速鎌倉号に改札が付いていないのはなぜか。
- ◆現場から多くの声が上がれば、サンライズの現社訓練を仕立てていただきたい。

会 社

- ◆サンライズに関しては出来なくはないが他会社で手配のハードルが高い。
- ◆様々なタイプの部屋があり見られた方が良いが、必要なことは教えられている。
- ◆教材も利用されていて、全く知らないということはない。
- ◆一人乗務で不安があれば伝えて欲しい。
- ◆現場に伝えていく。
- ◆勤務作成の中で、余裕があれば見習いを付けられるが現時点では厳しい。
- ◆了解した。

設備

1.E257系 5 両編成運用時における団体専用列車および臨時列車の車掌側の停止位置目標を整備すること。

回答:必要により整備していく考えである。

組 合

- ◆どういったことが考えられているのか。
- ◆5500番台は団臨で使うが停目が無い。大船駅は整備もされてない。
- ◆頻度が高いのであれば付けていただきたい。

会 社

- ◆使用頻度を加味しながら設定している。
- ◆停止位置目標は現場が整備をする。E257系5両の頻度があれば現場に声を上げていただきたい。
- ◆現場に伝えていく。

2.衛生面・職場環境の観点から「物干しスペース」を直ちに整備すること。また、必要な設備については現場の社員の意見を反映させること。

回答:物干しスペースを設置する計画はない。なお、社員の意見も参考にしながら必要な整備を行っていく考えである。

組 合

- ◆社員の声を聞くとなっているが。
- ◆乾燥機が必要との声が多く上がれば導入するのか。
- ◆濡れたタオルをロッカーに入れればカビが発生する。現場で声が上がれば考えていくべきである。

会 社

- ◆必要な設備は考えていく。
- ◆必ずしも必要かを見極めていかなければならない。現状、洗濯機が無いので必要ない。
- ◆全く行わないとは考えていない。

検証行動を通じ線区の特情に合わせた

ダイヤ・行路を作っていこう!